

今回は、平成25年11月28日に実施した、原子力防災訓練の状況をお知らせします。

今回の訓練は、東海村で震度6強の地震が発生、大きな津波が襲来し、すべての交流電源がなくなったとの想定のもと、災害対策本部を設置し、被害状況の確認を行いながら、電源確保、重機によるがれき撤去や地下タンクから原子炉への注水、環境モニタリング等の訓練を行いました。

今後も、電源および注水を確保する訓練等を繰り返し行い、万一の災害に備えてまいります。

災害対策本部における対応



- 発電所長を本部長とする災害対策本部を設置
- 原子炉圧力や水位等の確認
の他、地震・津波の被害状況をもとに対応を決定
- その結果を各作業班に指示



災害対策本部からの指示を受け、作業班へ無線で高圧電源車の起動、大容量ポンプ車の出動を指示

電源確保訓練



高台に配備した大容量高圧電源車から、原子炉や使用済燃料プールを冷却するために必要な機器の電源を確保する訓練

がれき撤去及び注水訓練



大容量ポンプ車の進入路を確保するため、重機によるがれき撤去訓練



放射線防護服、マスクを着用し地下タンク(淡水)からの汲み上げによる、原子炉への注水訓練



環境モニタリング等訓練



モニタリングカーによる周辺環境の放射線量測定及び避難者の污染検査訓練



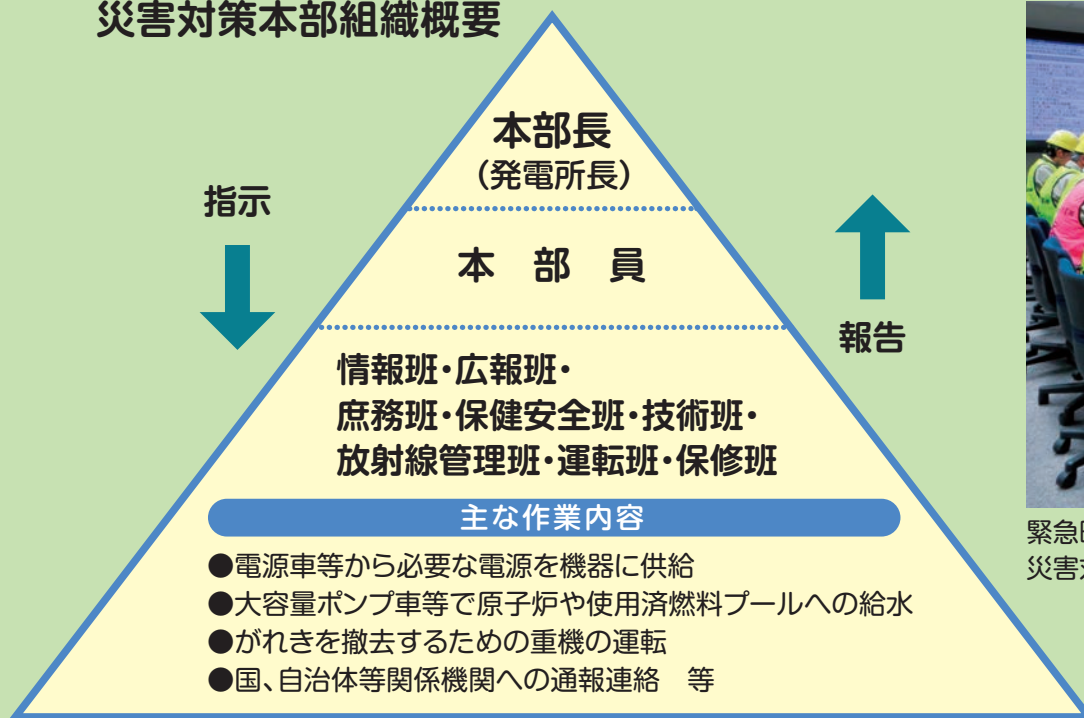
Q&Aコーナー

ご質問：万一、災害や事故が発生した場合、どのように対応するのですか。

回答：緊急時の対応要員を強化し、電源や原子炉等の冷却水確保の対応要員を24時間待機させており、万一の場合には、直ちに活動を開始して原子炉の損傷防止等原子力災害を防止する対応にあたります。

また、緊急時の対応の拠点として、放射線対策等を施した免震構造の緊急時対策室建屋内に災害対策本部を設置し、発電所の状況、原子炉の状態ならびに環境への影響を確認し、安全確保等の対策活動を行うほか、関係機関等への通報連絡も迅速に行います。

災害対策本部組織概要



緊急時対策室建屋内
災害対策本部の状況



免震構造の緊急時対策室建屋



高台から出動する大容量ポンプ車

発電所トピックス

環境中の放射線量率を常時監視しています

発電所の周辺に環境中の放射線量率を測るモニタリングポストを、また村内等にはモニタリングステーション(右写真)を設置して、常時監視しています。また、観測装置は定期的に点検を行い、健全性を確認しています。



発電所の現況

燃料は原子炉から全て取り出され、使用済燃料プールで冷却しています。

東海原子力館（東海テラパーク）のお知らせ

東海テラパークでは、本紙でご紹介した安全対策や訓練の模様等を、各種パネルやビデオでご覧いただくことができますので、ぜひお越しください。

展示物のご案内

*地域の方々の作品を展示しています

●1月14日～3月6日
「つるし雛」展

～どなたでもご覧いただけます～



東海テラパーク

所在地 那珂郡東海村白方1-1
電話 029-287-1252
開館時間 9時～16時30分
入館料 無料
休館日 年末年始(12/29～1/3)



お問い合わせ先
土日祝日を除く 9時～17時



日本原子力発電株式会社

茨城総合事務所 茨城県水戸市笠原町978-25 TEL:029-301-1511
東海事務所 茨城県那珂郡東海村白方1-1 TEL:029-287-1250

当社ホームページ
<http://www.japc.co.jp/>